

～日本一の富士山、駿河湾との共存～

標高3,776メートルという日本一の高さを誇る富士山、そして水深2,500メートルという日本一の深さを誇る駿河湾。この一見すると両極端な2つが、静岡県に存在していることを、皆さんご存知でしょうか？

今回のコラムではそんな富士山と駿河湾にまつわる日本一を紹介していきたいと思います。

～日本一の富士山～

平成25年6月26日に世界遺産に登録された富士山。日本一高く、美しい山として知れ渡っており、世界遺産に登録されたことで、ますます世界から注目されるようになりました。

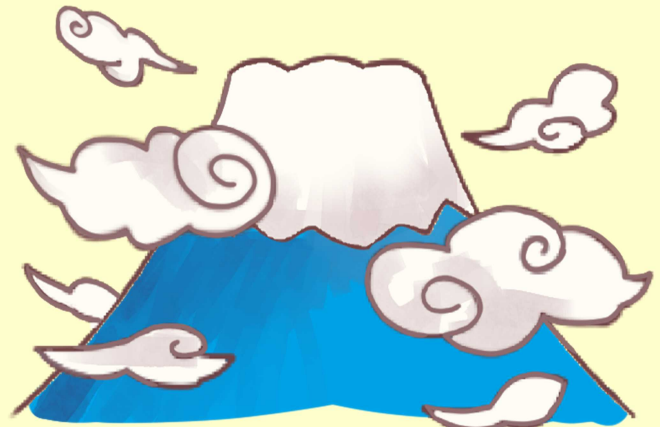
そんな日本一の富士山ですが、日本一に次ぐ山をご存知でしょうか。意外と知らない、他の山との標高を比較してみましょう。

日本の高山トップ3

順位	名称	標高	所在地
1位	富士山 〈剣ヶ峰〉	3,776	静岡県 山梨県
2位	北岳	3,193	山梨県
3位	奥穂高岳	3,190	長野県 岐阜県

単位:メートル

出典:「日本の主な山岳標高」国土地理院ホームページ



北岳と奥穂高岳とは、東京タワー(333メートル)1つと半分の差があります。



～日本一の湧水量を誇る柿田川湧水～

富士山に降った雨や雪は地下に流れ込んで地下水となり、三島溶岩流の間を流れます。そして、三島溶岩流の末端である清水町の柿田川公園付近で湧水として現れ、柿田川の流れを生み出しています。

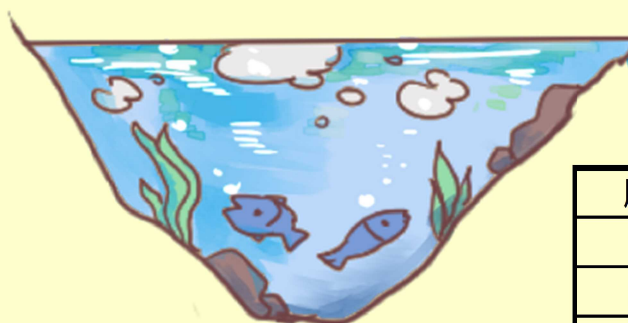
この柿田川湧水群の湧水量は1日当たり約100万トンとされています。この湧水は全て富士山に降った雨や雪によるもので、まさしく自然からの恵みといえるでしょう。

1日100万トンの湧水量にも関わらず、日本一短い一級河川でもあります。

～日本一深い駿河湾～

柿田川湧水が流れ着くのは、富士山の南側に広がる駿河湾。その表面積は約2,300平方キロメートル、水深は2,500メートルで日本一の深さです。

富士山との高低差は6,200メートルにも及びます。

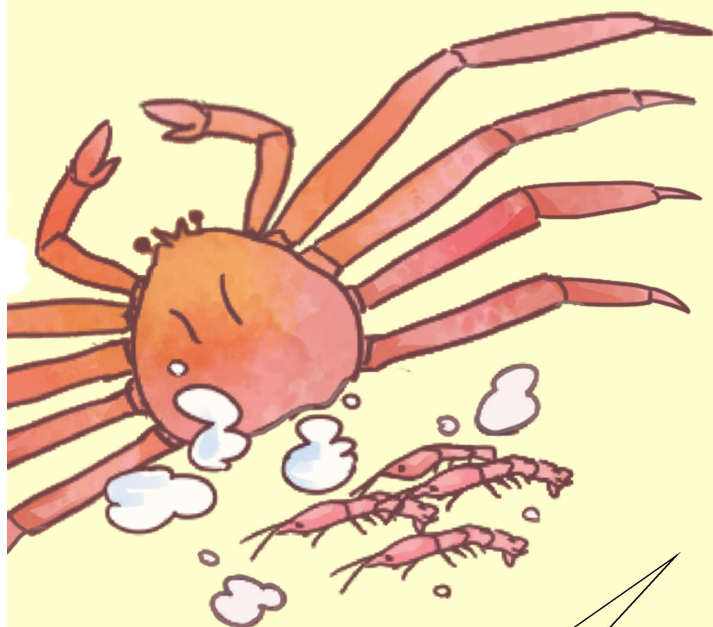


日本の深い湾トップ3

順位	名称	水深	所在地
1位	駿河湾	2,500	静岡県
2位	相模湾	1,500	神奈川県
3位	富山湾	900	富山県

単位:メートル

資料、出典:東海大学出版会日本海洋学会沿岸海洋研究会編、「駿河湾のなぞ」(星野通平編)



7月はさくらえびを禁漁している期間のため、次のシーズンは10月下旬から12月になります。

～日本一の漁獲量～

日本一の駿河湾には、漁獲量全国シェア100%のさくらえびがあります。その透き通った美しい桜色から、「海の宝石」とも呼ばれています。

また、沼津市戸田の特産品であるタカアシガニは、平成27年の水揚量が20,205キロと日本一の漁獲量を誇ります。駿河湾で獲れる最大のものは、全長が2～3メートルにも及びます。

タカアシガニの漁獲量推移

	25年	26年	27年
小型底びき網漁業	15,408	13,199	11,359
かご漁業	6,724	6,595	8,846
計	22,132	19,794	20,205

単位:キログラム

出典:静岡海区漁業調整委員会資料

紹介したのは一部でしたが、富士山から駿河湾まで多くの自然の恵みが巡り、やがて私達の元にも届きます。そんな自然の偉大さを改めて感じingみると、今まで見えていたものが違って見えてくるかもしれません。